

1. 科目名 ( 単位数 )	英語基礎演習Ⅲ ( 文法・作文 ) ( 2 単位 )	3. 科目番号	EDEN2301
2. 授業担当教員	澁井 とし子		
4. 授業形態	講義、演習、ペア・グループ活動	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	本講座の目標は、中学校及び高等学校における外国語科の授業に資する英語学的知見を身につけることにある。特に本講座では英語基礎演習Ⅱ(文法・読解)で学んだことを踏まえ、英語の文法に焦点を置き、英文法事項を整理・確認し、英作文の指導ができる英語学的知見を養う。この目的のため、英文法の基礎的な事項を復習し確認しながら英文を書く基礎を身につける。また、各課の重要事項を踏まえたうえで自ら相手に伝えたいことを英語で「書く」訓練も合わせて積んでいく。以上の訓練を通し英語学的知見である文法理解を深めていく。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英文を書くために必要な英文法の基本的な事項の復習と確認を行い、基礎的な英文を書くための英語学的知見を養う。</li> <li>2. 自分で書いた英文の文法の問題点を知り、より良い英文を書くための英語学的知見を養う。</li> <li>3. 英作文の指導上の課題を考察することで文法的理解を深める。</li> </ol>		
9. アサインメント ( 宿題 ) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業内容の理解を深めるために予習・復習としてテキスト内の問題を毎回課す。</li> <li>2. 英文作成力を高めるために、「英単語帳」「定型英文帳」作成の課題を出し多種多様な英文作成力を身につける。</li> <li>3. 毎回の講義でボランティアに宿題課題内の英単語を使つての英文を黒板に書いて、担当教員による編集、その単語の類義語・反義語の学習を行う。</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 船田秀佳・John C. Westby・Philip Beech 著『Communicative English Grammar for Speaking and Writing - 話せて書けるコミュニケーション・イングリッシュ・グラマー』英宝社。</p> <p>【参考書】 川崎芳人・久保田廣美『総合英語 Evergreen』いづな書店。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英文を書くために必要な英文法の基本的な事項の復習と確認を行い、基礎的な英文を書くための英語学的知見を養えたか。</li> <li>2. 自分で書いた英文の文法の問題点を知り、より良い英文を書くための英語学的知見を養えたか。</li> <li>3. 英作文の指導上の課題を考察することで文法的理解を深める。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>以下の点を総合して評価する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業中の態度・積極的参加度 総合点の 20%</li> <li>2 課題 ( ライティング、レポート等 ) 総合点の 20%</li> <li>3 小テスト 総合点の 25%</li> <li>4 期末テスト 総合点の 35%</li> </ol> <p>なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	四技能のうち「書く」力をつけることは他の三技能と比べて困難さを伴うものです。特に「正確さ」が文法と語彙の両面において求められ、それを身につけることは一朝一夕にはいきません。そして、英作文作成には英単語力、及び定型文の把握が必要です。そのため、日頃から英語を書く習慣をつけ、間違いと訂正を繰り返しながら力をつけることをお勧めします。英語の語彙や表現はコツコツと授業毎に覚えて、実際に使えるようにしましょう。		
13. オフィスアワー	第 1 回の講義の際にアナウンスします。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	この科目受講にあたっての留意点 Lesson 1 主語(1) 人間主語	事前学習	テキスト Lesson 1 (p. 7) を読み、英文のポイントを押さえる。
		事後学習	同 Lesson 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第 2 回	Lesson 2 主語(2) 無生物主語	事前学習	テキスト Lesson 2 (p. 11) を読み、英文のポイントを押さえる。
		事後学習	同 Lesson 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第 3 回	Lesson 3 時制 確認テスト① Lesson 1-2	事前学習	Lesson 3 (p. 16) を読み、時制のポイントを押さえる。
		事後学習	同 Lesson 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。確認テスト①の見直しを行う。
第 4 回	Lesson 4 冠詞	事前学習	Lesson 4 (p. 21) を読み、冠詞のポイントを押さえる。
		事後学習	同 Lesson 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第 5 回	Lesson 5 名詞の可算性 確認テスト② Lesson 3-4	事前学習	Lesson 5 (p. 25) を読み、名詞の可算性のポイントを押さえる。
		事後学習	同 Lesson 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。確認テスト②の見直しを行う。
第 6 回	Lesson 6 名詞修飾	事前学習	Lesson 6 (p. 29) を読み、名詞修飾のポイントを押さえる。
		事後学習	同 Lesson 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。

第7回	Lesson 7 名詞構文 確認テスト③ Lesson 5-6	事前学習	Lesson 7 (p. 33) を読み、名詞構文のポイントを押さえる。
		事後学習	同 Lesson 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。確認テスト③の見直しを行う。
第8回	Lesson 8 助動詞	事前学習	Lesson 8 (p. 37) を読み、助動詞のポイントを押さえる。
		事後学習	同 Lesson 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第9回	Lesson 9 不定詞・動名詞 確認テスト④ Lesson 7-8	事前学習	Lesson 9 (p. 41) を読み、不定詞・動名詞のポイントを押さえる。
		事後学習	同 Lesson 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。確認テスト④の見直しを行う。
第10回	Lesson 10 否定	事前学習	Lesson 10 (p. 45) を読み、否定文のポイントを押さえる。
		事後学習	同 Lesson 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第11回	Lesson 11 受動態 確認テスト⑤ Lesson 9-10	事前学習	Lesson 11 (p. 49) を読み、受動態のポイントを押さえる。
		事後学習	同 Lesson 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。確認テスト⑤の見直しを行う。
第12回	Lesson 12 比較	事前学習	Lesson 12 (p. 54) を読み、比較表現のポイントを押さえる。
		事後学習	同 Lesson 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第13回	Lesson 13 代名詞 It 確認テスト⑥ Lesson 11-12	事前学習	Lesson 13 (p. 58) を読み、代名詞 It のポイントを押さえる。
		事後学習	同 Lesson 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。確認テスト⑥の見直しを行う。
第14回	Lesson 14 前置詞・副詞	事前学習	Lesson 14 (p. 62) を読み、前置詞・副詞のポイントを押さえる。
		事後学習	同 Lesson 内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第15回	Lesson 15 複文 まとめテスト	事前学習	Lesson 15 (p. 67) を読み、複文のポイントを押さえる。 まとめテストの準備をする。
		事後学習	総復習を行い、まとめテストの見直しを行う。